

ウィズチャイルドでは2年前より散歩時における基礎体力の向上を保育計画に盛り込んだり、野外活動を行う中で自分や他人や自然の命のつながりを大切に思う心を培うべく、環境教育に力を入れてきています。

小中高校では近年かなり積極的に取り組まれ始めている環境教育ですが、保育の世界ではまだまだ定着していません。地球上のあらゆる命や物は全て関わり合いつながって存在していると感じ取り、自分や他者や自然への愛情を育むことは、これからの地球と共存していく子ども達にとって欠かせない教育となります。モンテッソーリ教育の中核にあるコスミック教育は万物への愛を育み世界平和へと導くことを真の目的としています。

「センスオブワンダー」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。この小さな乳幼児期にこそ、自然物や多くの命と触れあい、豊かな愛情と感性を磨くことがとても大切なのです。そのような背景から、ウィズチャイルドでは2年前より環境教育の専門家である下重喜代先生(サステナブルアカデミージャパン代表)と環境教育インストラクターの光橋翠先生に学び、30名を超える保育者が2年を通じて野外教育リーダー養成講座を修了しました。

その学びが実践保育としてより一層の効果を発揮するために、今年は下重先生ご自身が日常の散歩に参加してくれることになりました。みなみ園は明日10日(金)のお散歩にまず同行していただく事になりました。そして17日(金)は、下重先生もご一緒に年長さん達で特別な森探検に出かけてきます。幼保園こども園の年長さん達と一緒に原峰公園まで行ってきたいと思います。過ごしやすい服装や靴、帽子をご用意ください。

秋にもまた同じような体験ができる準備をしています。

これまでの野外活動・環境教育への取り組みを示した保育ドキュメンテーションや環境活動指針も併せてどうぞご覧ください。

では、子ども達や園からの報告をお楽しみに。